

デュプロ製品環境報告書2025

Duplo Environmental Report 2025

Duplo Environmental Report
2025



地球環境に美しく調和する ドキュメントソリューションを。

デュプロは、深刻化する天然資源の枯渇、地球温暖化、大気汚染などの問題を真摯に見つめ、
かけがえのない地球環境を次世代へと引き継ぐ「循環型社会」の形成を目指して、
製品をめぐるさまざまな取り組みに、独自のノウハウとテクノロジーを投入しています。

デュプロの企業活動

デュプロは、販売会社とメーカーから構成されるグループ企業です。
国内における販売拠点は全国をカバー。海外にも7つの販売拠点を置き、
保守・メンテナンスサービスまで万全の体制で、日々、お客様をサポートしています。
また、開発・製造拠点である株式会社デュプロとデュプロ精工株式会社は、
新たなキーテクノロジーの開発と既存技術資産の価値向上に取り組んでいます。

○国内の主要販売拠点…

販売拠点は各社支店・営業所によって全国を網羅しています。
デュプロ万博株式会社（北海道）／デュプロ株式会社（東京）／株式会社FOVAテック（名古屋）／
デュプロ株式会社（大阪）／デュプロ株式会社（高松）／デュプロ株式会社（福岡）

○開発・製造拠点…

国内はもちろん、海外でも使用されるデュプロ製品を、3社によって開発・製造しています。
株式会社デュプロ（神奈川）／デュプロ精工株式会社（和歌山）／アジア原紙株式会社（岐阜）

○海外の主要販売拠点…

各国代理店の協力を得て、グローバルに販売活動を展開しています。
イギリス／アメリカ／韓国／台湾／タイ／ベトナム／香港

主要なデュプロ製品

デュプロ製品は、一般のオフィスからプロの作業現場まで、
省力化機器として、また生産機器として、
幅広くご利用いただいております。ここにご紹介したものは、
デュプロが開発・製造・販売している製品のほんの一部。
印刷（出力）から紙折り、丁合、製本といった
ドキュメント作成における一連の作業を、
すべて自社製品で完了できるのはデュプロだけです。

○デジタル印刷機／デュープリンター

オフィスのビジネス文書や販売促進用のチラシ、
あるいは学校、官公庁で配布されるプリントなど、
さまざまなプリントニーズに、ハイスピード&ローコストの
パフォーマンスでお応えしています。

○紙折機／フォルダー

オフィスや官公庁でのDM、連絡文書などの紙折り作業から、
図面折り用にまで利用可能。二つ折り・三つ折りのほか、
汎用性の高い折り型を、手折りに迫る高い精度でスピーディーに仕上げます。
なかでも「DF-01」は、オフィス環境に影響を与えないよう
静音設計が施されています。

○丁合機／コレクター

ページごとに出力された用紙を一枚一枚確実に給紙して
ページ順にセットします。オフィスや学校、官公庁などの各種資料づくりから、
印材市場における冊子製本の前工程、新聞販売店での
折込広告丁合まで、それぞれの用途に応じた機器をラインアップ。
丁合後の中綴じ折りや小口断裁を行うオプションとのシステム構築で、
製本作業のトータルプロセスを一括処理できます。

3Rの推進

R educe ――〈削減〉

製品の使用、製造などの各過程で、
消費電力と廃棄物の削減を徹底。

R euse ――〈再利用〉

流通量の多い製品を対象に、
梱包材の再利用を実施し、廃棄物を減量。

R ecycle ――〈再資源化〉

回収した製品のパーツを、特定の製品、
または原材料に再資源化。

デュプロでは「循環型社会」の形成に向けた活動として、
グループ全体で「3R」の推進に取り組んでいます。
具体的な目標や内容については、グループ各社で個別設定されるもののほか、
たとえば製品の流通や梱包材の回収・再利用などのように、
販売会社とメーカーの協力によるものもあります。

さまざまな用途の製品で より効率的なエネルギー利用を追求

近年、世界各国で、地球環境保全に関する法整備が活発です。デュプロでは、それらに対応することはもちろん、
場合によっては先回りするように、環境適合性の高い製品をご提供しています。ラインアップのほぼすべてが、
グリーン購入法適合製品、エコマーク認定商品、国際エネルギースタープログラム適合製品である
「デュープリンター」をはじめ、ほとんどの製品が、高効率なエネルギー利用を実現する機能を備えています。

グリーン購入法の適合製品となった デュープリンター

2004年3月に、デジタル印刷機が「グリーン購入法」の特定調達品目
として正式に登録され、デュプロの「デュープリンター」は、ラインアップ
のほとんどがグリーン購入法適合製品となっています。

○グリーン購入法とは…

2001年4月より施行された「国等による環
境物品等の調達の推進等に関する法律」の
ことです。物品を購入する際には環境に配
慮されたものを選ぶ「グリーン購入」を国等
の機関に義務づけるとともに、地方公共団
体や事業者・国民にも努力を求めています。
また、消費側への働きかけだけでなく、供給側の企業にも環境負
荷の少ない製品（エコプロダクツ）の開発を促すことで、経済活動
全体を環境にやさしいものに変えていく可能性を持っているので
す。なお、企業が「グリーン購入」と同じ考え方で製品のパーツや資
材を調達することを「グリーン調達」と呼びます。

参考資料：環境省 WEBサイト (<http://www.env.go.jp/>)

グリーン
購入法
適合商品

エコマークの認定商品となった デュープリンター

「デュープリンター」は、2005年8月1日に制
定されたエコマーク基準、類型番号「133」、類
型名「デジタル印刷機 Version1.1」の認定審査
を受けて、同月内にデュープリンター e シリーズ
がエコマーク認定商品となつてから、次々と新し
いエコマーク認定商品をリリースしています。



3R・省エネ設計
インクの VOC 成分
5%未満
19 133 001

○エコマークとは…

私たちの身のまわりにある商品（製品およびサービス）の中で、「生
産」から「廃棄」にわたるライフサイクル全体を通して環境への負
荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品につけられてい
ます。そのような商品と認められるには、公益財団法人日本環境
協会エコマーク事務局の定めた基準に合格することが必要です。

国際エネルギースタープログラムの 適合製品となったデュープリンター

「デュープリンター」は、2009年10月から現在までの間に、ほぼすべて
の機種が国際エネルギースタープログラムの適合製品になっています。

○国際エネルギースタープログラムとは…

日米両政府合意のもとに1995年10月から
実施され、現在では日米の他、EFTA、スイス
（SFOE）、カナダ、台湾なども参加している
オフィス機器の国際的省エネルギー制度で
す。製品の稼働、スリープ、オフ時の消費電力
などについて、省エネ性能の優れた製品が適
合となるように基準を設定。この基準を満たす製品に「国際エネル
ギースターロ」の使用が認められ、省エネ型オフィス機器の目印
となっています。



参考資料：財団法人省エネルギーセンターWEBサイト (<https://www.eccj.or.jp/>)

デュープリンターのグリーン購入法・
国際エネルギースタープログラム適合製品
およびエコマーク認定商品となった機種



DP-X850



DP-α700

製品名	グリーン購入法 適合	エコマーク認定	国際エネルギー スター適合
DP-X850	○	○	○
DP-X650	○	○	○
DP-X620	○	○	○
DP-X550	○	○	○
DP-X520	○	○	○
DP-α700	○	○	○
DP-G320	○	○	○
DP-A120II	—	—	○

さまざまな用途の製品で より効率的なエネルギー利用を追求

環境に配慮した専用消耗品

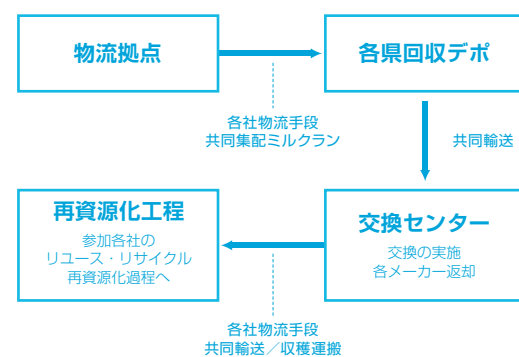
エコマーク認定を受けたデュプリンター、「DP-Xシリーズ」の専用消耗品であるマスターと黒インクおよびインク容器は、エコマーク商品類型133「デジタル印刷機」のインク、マスター、およびインク容器に係る基準全てを満たしております。（※インク容器は、インク100ml当りの容器のプラスチック材質量7g未満の場合の基準に適合）エコマーク認定基準には消耗品であるマスター、黒インク、インク容器につきましても様々な環境を配慮した基準14項目が設定されています。これらの基準に合致する為には、単にメーカーの自己宣言だけでなく、外部検査機関による化学分析測定結果に基づく論理的な説明資料を提出し、基準審査に適合することが必要となっています。エコマーク認定を受けたデュプリンターは省エネルギーだけでなく、消耗品を含め総合的な環境配慮がなされております。



デジタル印刷機のエコマーク基準
<http://www.ecomark.jp/criteria/133.html>

回収機交換システムによる リユース・リサイクルの促進

株式会社デュプロは、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（JBMA）デジタル印刷機部会の会員会社となっています。そして、2007年10月には、複写機・複合機で実施されている回収機交換システム*に正式参加。各社が営業活動で下取りした他社機を回収機交換センターへ集め、製造メーカーに返却することとなりました。このシステムは、全国各地の回収デポと、ハブ拠点である交換センターを利用して、リユース・リサイクルの促進と、高度循環型社会形成への貢献に寄与していくことを目標としています。



* 概要はホームページ (<https://jyomyaku.jbmia.or.jp/>) をご参照ください。

環境年表

2001年4月

・グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）施行。

2004年3月

・デジタル印刷機が「グリーン購入法」の特定調達品目として正式に登録される。

2005年8月

・エコマーク基準、累型番号「133」、累型名「デジタル印刷機Version1.1」が制定される。

2007年10月

・デジタル印刷機のカテゴリーとして、静脈物流システムに正式参加し、運用を開始する。

2014年1月

・デュプリンターDP-Fシリーズがグリーン購入法に適合するとともにエコマーク審査にも合格。さらに、国際エネルギースタープログラム適合製品として登録される。

2016年3月

・デュプリンターDP-G320が、グリーン購入法に適合するとともにエコマーク審査にも合格（認定番号16133001）。さらに国際エネルギースタープログラム適合製品として登録される。

2017年5月

・デュプリンターDP-A120IIが、国際エネルギースタープログラム適合製品として登録される。

2018年3月

・デュプリンターDP-F750、DP-F720が、グリーン購入法に適合するとともにエコマーク審査にも合格。さらに、国際エネルギースタープログラム適合製品として登録される。

2019年3月

・デュプリンターDP-α700が、グリーン購入法に適合するとともにエコマーク審査にも合格。さらに、国際エネルギースタープログラム適合製品として登録される。

2019年12月

・デュプリンターDP-Xシリーズがグリーン購入法に適合するとともにエコマーク審査にも合格。さらに、国際エネルギースタープログラム適合製品として登録される。

使用済みのコピー用紙から 白く美しい100%再生紙を生産

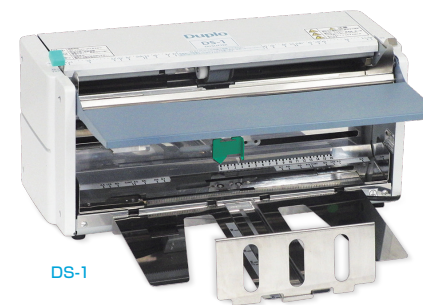
紙を扱う機器の開発・販売に携わるデュプロにとって紙の再利用を推進することは使命。また、限りある資源を無駄にすることなく未来に残していく、環境型社会形成の一翼を担う責任とも考えています。そこでデュプロでは、自らの手で紙をリサイクルする文化を広めたいという想いを込め、「小型製紙装置 RECOTiO（レコティオ）EV-i250」をご提案しています。



RECOTiO EV-i250

用紙の有効利用を 推奨する機能と製品

たとえば、A4用紙100枚をプリントする場合、デュプリンターの多面印刷機能でA3用紙に2面プリント。そして、断裁工程を経ることで、用紙代と消費電力を低減することができます。断裁工程には、約110枚/分の高速処理が可能な「デュースリッターDS-1」をご用意しています。



DS-1

160Wで実現する エアー給紙の紙折り作業

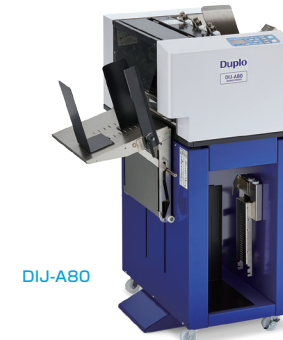
デスクトップタイプの全自動紙折機「エアーサクシオンフォルダーDF-1300」は、重送検知とアート紙、コート紙のより安定した給紙を実現しながら消費電力は160W。エアーを用いる給紙方式の紙折機としてはきわめて省エネルギーな製品です。



DF-1300

70Wで高速処理を実現する 熱源を用いない省エネ印刷

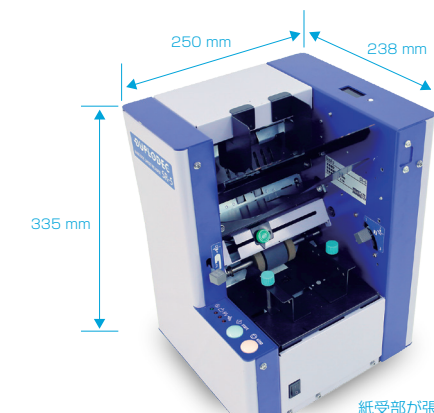
「デュプロインクジェットDIJ-A80」は、最大印刷速度8,000枚/時の高速印刷時でも最大消費電力は70Wです。長年にわたって蓄積されたペーパーハンドリング技術によって、省エネと高生産性を両立させています。



DIJ-A80

省スペース設計で 作業空間を有効利用

「バーコードシートリーダー SR-5」は、従来機よりさらに小型化し機械サイズを体積比で約10%縮小しました。省スペース設計の製品を開発することも、使用環境への負荷を低減する活動として重視しております。

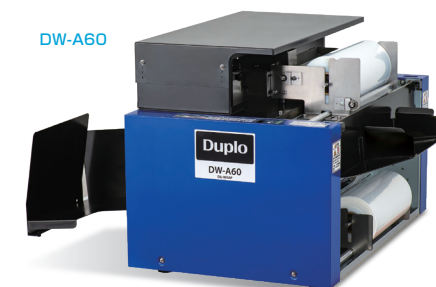


SR-5

紙受部が張り出していない
省スペース設計

省エネモードで待機中の 消費電力を軽減

デスクトップタイプのフィルム包装機「デュラップ DW-A60」はロール式のフィルムでチラシやDM等のフィルム包装が可能です。更に省エネモードを搭載し、待機中の消費電力を押さえめます。



DW-A60

従業員一人ひとりの意識が環境活動を強力に推進

デュプロでは、製品のパーツなどを調達する部門、組み立てを行う部門、また管理業務を担当する部門など、それぞれの部門が、地球環境保全に対する強い決意を持って業務に携わっています。社内では、廃棄物の発生抑制とリサイクル、消費電力の徹底管理を推進する活動を展開。相互確認、相互認識による活動の結果、非常に高い成果を得ています。

電力マネジメントシステムによる節電の取り組み

株式会社デュプロでは電力マネジメントシステム「ERIA」によりリアルタイムで建物全体の消費電力を管理しています。目標電力のピーク電力値を超えそうな場合は消費電力を抑制する対策を実施しています。また、時計型のマネジメント計を食堂に設置し、社員全員が色や音声で電力状態を把握出来るよう取り組んでいます。



従業員各々による節電の取り組み

2011年の震災の経験をもとに、従業員一人ひとりが自主的に身近なところから節電に取り組んでいます。ノートPCのバッテリー駆動時間帯の設定、クールビズや館内照明の引き、そして、エアコンの設定温度調整の徹底などに取り組んでいます。

小ロット生産体制で製品供給を大幅に効率化

機種単位の生産ロットを最小限にして在庫量を圧縮。ムダが省けるだけでなく生産品目の変更にもフレキシブルに対応できて、市場ニーズに合わせたタイムリーな製品供給も可能としています。

「グリーン購入品」の利用を社内で推進

株式会社デュプロでは、社内で利用する用紙やボールペン、ノートなどの文具類に「グリーン購入品」を積極的に採用するため、購入窓口を総務部門に固定。商品単位で必要量を一括購入することで、部門単位の個別発注による重複購入も抑制しています。

EDIシステムの導入で出力帳票類を大幅に削減

各仕入先様の協力によって、材料の受発注にはEDI（Electronic Data Interchange）システムを利用したオンライン形式を採用。取り引きに必要な帳票類などの出力量を大幅に削減しています。受注内容をオンライン画面上で確認できるので、出力による用紙のムダが省けるとともに、受発注の履歴がすべてデータ管理されて、実績検索も簡単になります。

行政指導にしたがって廃棄物の分別を徹底

社内のゴミはリサイクルも含め、行政指導による処分方法を守っています。廃棄物集積場所も処理基準にしたがって区分されています。



分別収納室

社内照明のLED化による省エネルギー対応

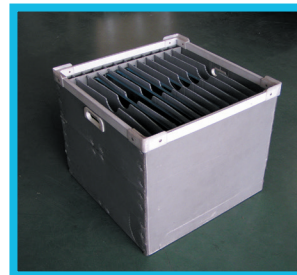
株式会社デュプロの本社社屋の照明は元々高効率の蛍光灯（HF管）でしたが、より省エネ効果が高いLEDに変更。エネルギー効率だけでなく、管の交換頻度を下げることによる資源的な環境配慮がなされています。また、全社的な節電プログラムの実行により冷暖房温度の管理を各部門で行い、快適性を維持しつつ電力量の削減に注力しています。

効率的な物流システムの構築でCO₂と廃棄物の発生を抑制

製品の管理や輸送時に発生するCO₂の削減を目標に、デュプロでは仕入先様の協力を得て、徹底した輸送形態の改善と拠点の拡大を図りました。CO₂の削減のみならず廃棄物の削減も視野に入れ、梱包形態の見直しや梱包材の再利用を促進することで、トータルに物流システムを再構築。製品管理においても、ブラッターやバッテリー式フォークリフトを導入してCO₂の削減に努めています。

納品パーツ等は繰り返し使える専用の通い箱を利用

各仕入先様から納品されるパーツやユニット品には積極的に通い箱を利用することで、ビニールやダンボールなどを用いた個装ゴミをできるだけ削減しています。製品開発の段階で、事前に各仕入先様と打ち合わせを行い、通い箱の必要性とサイズ、間仕切り数などを決定して製品の量産時より対応しています。



納品パーツ専用通い箱



紙紙力セット専用輸送カーゴ

リサイクル梱包の普及を拡大

国内で流通量の多い新聞系機器を対象に、梱包材のリサイクルシステムを構築しました。リサイクル専用梱包材の採用で、廃棄物の発生量を抑えています。また、リサイクル専用梱包材には、従来品同様の強度に加え、物流業者の意見を参考に耐久性に優れた素材を厳選。輸送上の重量負荷にも配慮して軽量化することで、回収と返却の際にかかる作業負担を軽減しています。



EPコレクター同梱品のリサイクル梱包



折込広告丁合機用リターナブル梱包

○リサイクル梱包（通い箱方式）の採用状況

製品カテゴリー	機種名
折込広告丁合機	EPコレクター同梱品
スタッカー・エレベーター	EP-SE2
バーコードシートリーダー	SR-5
卓上丁合機	DFC-100NⅢ・100LⅢ

注）通い箱方式は国内出荷に限定しています。

チャーター便と定期便を有効に活用

折込広告丁合機など、大型の製品はトラックをチャーターして満載。梱包をビニールカバーだけとして各販売拠点に輸送しています。また、和歌山の製造拠点へのパーツ納品は、各仕入先様からの個別納品ではなく、定期便を仕立てて一気に輸送し、使用するトラックの台数を削減。化石燃料の消費とそれとともなうCO₂の発生を抑制しています。



チャーターしたトラックに製品を満載

スチロールレスの梱包形態を積極的に採用

これまで、製品の梱包材は、おもにスチロールを使用してきました。しかし、環境に配慮して、梱包基準を開発段階から見直し、スチロールレス梱包に変更。スチロールに代わる梱包材としてダンボールを採用しました。産業廃棄物扱いとなるスチロールの廃棄率を低減しています。



ダンボールを利用した梱包



フォークリフトはバッテリータイプを使用

倉庫内で製品管理やトラックへの積み込みに使用している荷役用フォークリフトは、化石燃料タイプから充電式バッテリータイプへとすべて変更。CO₂の発生を抑制しています。



充電式バッテリータイプの荷役用フォークリフト

地球環境への配慮が パーツレベルにまで行き届いた設計

デュプロは、さまざまな製品が地球環境に与える負荷に対して、お客様にご利用いただいているときのことだけでなく、ライフサイクルを終えた後のことまで考慮。再利用の円滑化と有害物質発生の抑制を目指した設計、および材料素材の選定に、開発段階から取り組み、グリーン調達の実進や技術の向上などによって、よりいっそう地球にやさしい製品を生み出しています。

電気部品、電子部品には 鉛フリーはんだを使用

電気部品、電子部品のはんだ付けに使用するはんだには、鉛を含むものがあります。鉛を含むはんだが使われている製品が、適切に処理されずに廃棄された場合、鉛が土壌に溶出して飲料水や食物から人体に入り悪影響を及ぼす恐れがあります。そのようなことがないように、はんだ付けには鉛を含有しない「鉛フリーはんだ」を使用しています。また、電気部品、電子部品の調達においても「鉛フリーはんだ」を使用しているもののみを仕入れています。

クロムフリー素材を採用

製品の組み立てに用いるネジには、表面処理（電気亜鉛メッキ）に有害化学物質である六価クロムが使われている場合がありますが、デュプロでは全製品に対して六価クロムが使われていないクロムフリーネジに変更しています。また、ネジと同様に表面処理（電気亜鉛メッキ）に六価クロムが使われていた銅板についても、クロムフリー銅板（亜鉛メッキ銅板）への切り替えを完了しております。

デュプロ製品の グリーン調達への取り組み

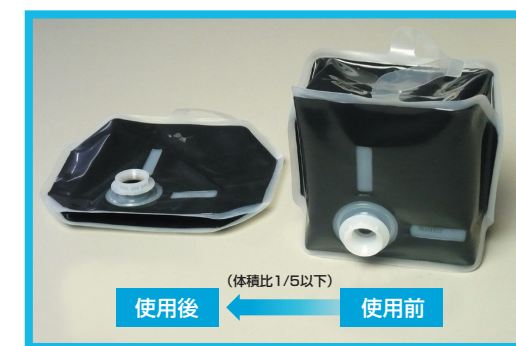
デュプロでは、日本及び世界の国と地域の環境を保全し、人々の健康を維持するというポリシーの下、グリーン調達基準を定め、運用しています。国内外の法規制やガイドラインに基づき、有害化学物質を指定し、製品を構成する全部品について、含有化学物質が管理されています。RoHS指令や年に数回の更新が行われるREACH規則のSVHC（高懸念物質）、その他の規制も含め、動向に合わせた調達基準の改定を実施して最新の状態を保っています。国内外のルールに準拠し、安全で地球環境に配慮した製品を国内外に販売しています。また、含有化学物質の管理に仕入先様の協力は欠かせません。仕入先様にグリーン調達基準を理解していただいたうえで、調査の協力を要請し、グリーン調達の取り組みを継続して実施しています。グリーン調達には、仕入れ先様や製造者を含め、サプライチェーン全体で取り組む必要があります。持続的な活動ができるよう、効果的な仕組みを作ることも重要であると考えています。

製品・資源のライフサイクルを 長期化するとともに再利用

デュプロは、使用済み製品を廃棄物ではなく貴重な資源ととらえています。そんな考え方をベースに、デュプリンターの使用済みインクパックに関しては、回収して再資源化するシステムを構築。高品質なプリントを維持しながら製品・資源のライフサイクルを長期化させる取り組みを行っています。

使用済みインクパックの 再資源化システムを構築

デュプリンターDP-Xシリーズのインクパックは、使用後に圧縮されて使用前の5分の1になる減容設計です。しかもインクパックの素材は、わずか27gのプラスチック。容器の質量を減らす工夫で、環境負荷を低減しています。



デュプリンターDP-Xシリーズのインクパック

廃棄物のリサイクル

株式会社デュプロでは、廃棄物のリサイクルを積極的に推進しており、2024年12月時点で15.0%の廃棄物リサイクル率を達成（サーマルリサイクルを含む）。今後、さらにリサイクル率を上げるため、会社全体で取り組んでいきます。



再利用を前提に材料素材を選定

デュプロ製品は、再資源化しやすい材料素材を積極的に使用しています。さらに、回収後の再資源化作業をよりスムーズにするために、材料素材に応じて表示刻印を施しています。



アクリルニトリル・ブタジエン・スチレン（ABS）の材料表示

○デュプロ製品における 材料素材への配慮…

- ①——リサイクル性の高いプラスチック材料を使用
プラスチック材料としては、ポリエチレン（PE）、ポリスチレン（PS）、ポリプロピレン（PP）、アクリルニトリル・ブタジエン・スチレン（ABS）等を使用しています。
- ②——ポリ塩化ビニールの使用を低減
廃棄時の不適切な処理によるダイオキシンなどの発生を防止するために、電線類以外はできるだけポリ塩化ビニールを使用しないようにしています。
- ③——分別時のためにプラスチック部品に材料表示
材料の種類による分別をしやすくする為、当社が設計するプラスチック部品には、JIS及び国際標準に準拠して材料の種類に応じた表示を施しています。

グループの環境理念に基づいて 積極的な活動を展開

デュプロでは、グループとしての環境理念を掲げて、真摯に環境保全活動に取り組んでいます。グループ各社でも、個別に定めた環境方針を確実に実行に移して、環境マネジメントシステム(EMS)の運用と維持、そして改善に向けた活動を実施。これからも、グリーン調達徹底や物流システムの見直しなどを推進して、よりいっそう地球環境に配慮した製品の開発・製造・販売に努めていきます。

ISO14001を取得

株式会社デュプロは「ISO14001」の認証を取得しており、環境マネジメントシステム(EMS)を運用しています。DMS事務局を主体として目的・目標を設定して活動を実施し、改善活動や従業員の意識強化など、決め細やかな活動を続けています。また、「ISO14001」の維持・審査時には認証機関による外部環境監査が行われています。



株式会社デュプロのISO14001認証番号E1499

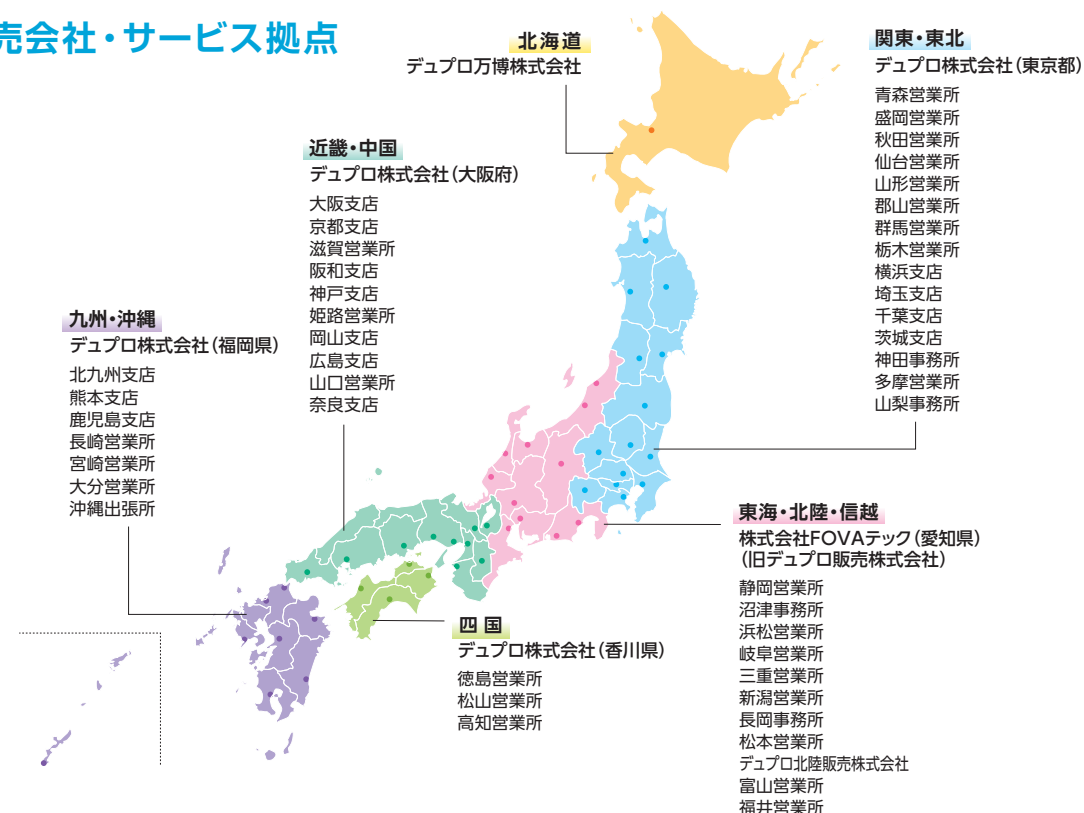
身近なことから 環境活動を展開

デュプログループ各社では、裏面が白紙の用紙は文書の内容に応じて再利用することを推進しています。また、一部販売会社では使用済みの用紙を小型製紙装置RECOTIOを活用し、再生紙として再利用しています。更に、照明、エアコンなどの電力消費の低減や廃棄物発生抑制など、環境活動はすぐにできることから積極的に実行しています。



ホームページにみられるデュプログループ各社の環境方針

販売会社・サービス拠点



我々は環境問題が人類共通の重要課題であることを認識し
『環境との調和』をスローガンとして、
地球環境の保全と社会への貢献を目指して活動する。

販売会社一覧

北海道／デュプロ万博株式会社
TEL.011-518-5511 〒064-0918 北海道札幌市中央区南18条西15-2-14

関東・東北／デュプロ株式会社
TEL.03-5952-6111 〒170-8416 東京都豊島区東池袋3-23-14
青森営業所／盛岡営業所／秋田営業所／仙台営業所／山形営業所／郡山営業所／群馬営業所／栃木営業所
横浜支店／埼玉支店／千葉支店／茨城支店／神田事務所／多摩営業所／山梨事務所

東海・北陸・信越／株式会社FOVAテック
TEL.052-321-2020 〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 4-19
静岡営業所／沼津事務所／浜松営業所／岐阜営業所／三重営業所／新潟営業所／長岡事務所／松本営業所
デュプロ北陸販売株式会社／富山営業所／福井営業所

近畿・中国／デュプロ株式会社
TEL.06-6352-0551 〒530-8535 大阪府大阪市北区東天満 1-11-19
大阪支店／京都支店／滋賀営業所／阪和支店／神戸支店／姫路営業所／岡山支店／広島支店／山口営業所
奈良支店

四国／デュプロ株式会社
TEL.087-843-3755 〒761-0101 香川県高松市春日町 161-6
徳島営業所／松山営業所／高知営業所

九州・沖縄／デュプロ株式会社
TEL.092-474-1111 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南 1-5-28
北九州支店／熊本支店／鹿児島支店／長崎営業所／宮崎営業所／大分営業所／沖縄出張所

開発・製造会社一覧

株式会社デュプロ
TEL.042-775-3601 〒252-5280 神奈川県相模原市中央区小山 4-1-6
和歌山事業所

デュプロ精工株式会社
TEL.0736-73-6233 〒649-6551 和歌山県紀の川市上田井 353
盛岡設計室

DUPLODEC 株式会社
TEL.0736-73-6952 〒649-6551 和歌山県紀の川市上田井 353

アジア原紙株式会社
TEL.0581-23-1551 〒501-2105 岐阜県山県市高富258

デュプロテレマーケティングサービス株式会社
TEL.045-222-6920 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町23

中山迅宝兴业机械有限公司
TEL.+86-760-28105810/28105816 中国広東省中山市南區城南四路50号工業厂房2号

海外販売会社一覧

Duplo U.S.A. Corporation
TEL.+1-949-752-8222 3050 South Daimler St. Santa Ana, California 92705, U.S.A.

Duplo Manufacturing Corp., Korea Ltd. (Korea)
No. 1409, 184 Gasan Digital 2 Ro, Geumcheon-Gu, Seoul, 08501 Korea [Gasan-Dong, Byucksan Digital Valley 2]

Duplo (Thailand) Limited
TEL.+66-2-954-7979 83/121 Moo 6
Ngamwongwan Rd. Thungsonghong Laksi, Bangkok 10210, Thailand

Duplo Taiwan Corporation (Taiwan)
TEL.+886-2-2721-2117 8F, No.2, Sec.4, Chung Hsiao E. Road, Taipei 10688, R.O.C.

Duplo International Limited
TEL.+44-1932-263-900 Automated Precision House,
Hamm Moor Lane Addlestone, Surrey KT15 2SD, United Kingdom

Duplo Vietnam Company Ltd.
86 Dao Duy Tu St, Ward Dien Hong, HCM City, Vietnam

Duplo Hong Kong Limited
TEL.+852-2-606-1735 Unit Q3, 10/F., Wah Lai Industrial Centre, 10-14 Kwei Tei Street,
Fo Tan, N.T., Hong Kong



人と地球に心地よい
コミュニケーションのために、
デュプロは進化を続けていきます。